



暑い日が続いています。
夏だから・・・とはわかっていても、
この暑さおかしくないですか？
不快指数満点のこの時期でも、
俳句の季語は魅力的。
短夜、夕立、片陰、夕焼、喜雨、青田、滴り、
浴衣、籐椅子、端居、打水・・・
古人の心を感じます。

うさおさん、健さん投句ありがとうございました。

まずは健さんの句です。

沖の船夏めくものに雲の形

風景画のように景色が浮かびますね。

*船沖に夏めく雲の形かな

沼池の途切れなき泡夏至の昼

面白いと思います。沼池にボコボコとわく泡。
目の付けどころが良いですね。

鬱の日の珈琲ゼリーほろ苦し

鬱々とした日の珈琲ゼリーは確かにほろ苦いですね。

*鬱々と珈琲ゼリーのほろ苦し

紫陽花の藍一色に揃いける

紫陽花の濃い藍色が目に浮かびます。凜とした美しさですね。

鉄骨の中に鳩の巣半夏生

半夏生という季語を上手に使っていらっしゃいますね。

*鉄骨の中の鳩の巣半夏生

片陰に肩入れ合ひてすれ違ふ

雰囲気は良くわかります。

入れる、合う、すれ違ふと動詞が少し多いようです。

*片陰や肩ぶつけあひぶつけあひ
女性っぽいかな～

次にうさおさんの句です。

青葉揺れ風そよそよと野辺送り

お母様の事、残念でしたね。淋しくなられたでしょう。

お気を落とさないでくださいね。

*野辺送るほほにもそよと若葉風

菩提寺は蟬の読経で母逝きし

*母逝くや蟬の読経に送られて

母逝きし臯月が吾の誕生日

良い句ですね。

お誕生日の五月がお母様の命日になってしまわれた、淋しい思いが感じられます。

体調のおもわしくない健さん、御不幸のあつたうさおさんですが
がんばって俳句作られていて、しかも良い句が揃いました。

お二人とも時節がらお疲れが出ないように気をつけてくださいね。

皆さんも暑さに負けないで、一句いかがでしょうか？

今回は投句お待ちしております。

携帯を片手に若き三尺寝

羅(うすもの)や重なる部分透く部分 ゆうこ

